

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

**【研究課題名】**：転倒転落に関わる医薬品適正使用の推進に向けた調査

### 【研究の目的】

転倒転落は、患者さん自身の身体機能を低下させて生活を制限させることにより生活の質を低下させる等の危険性があります。そして、転倒転落は入院中に発生することが多いと言われているため、転倒転落を未然に防止する取り組みを行うことは非常に大切であると考えられます。

愛媛大学医学部附属病院（以下、当院）では、患者さんの入院時に看護師が「転倒転落アセスメントスコアシート（以下、シート）」を用いて転倒転落に関するリスク評価を行っています。本シートは当院において以前より用いておりますが、評価項目の1つである「薬剤」におきましては「睡眠安定剤」・「睡眠導入剤」・「精神安定剤」など重複する内容も含まれており、リスク評価が不明瞭となる可能性が考えられました。

今回、入院患者さんに対するシートを用いたリスク評価（危険度分類）および入院中の転倒転落有無を確認することで、現状の項目において適切なリスク評価が可能であるか否かについて評価し、シート内容（特に、「薬剤」）の改訂を含めて検討します。また、転倒転落のリスク要因と考えられる薬剤と転倒転落に及ぼす影響を調査し、今後、患者さんに対してより安全で有効な薬物療法が提供できるようにアルゴリズムを作成することを目的とします。

### 【研究の方法】

（対象となる患者さん）2017年4月～2017年12月の間に当院に入院し、入院中に転倒転落が発生してインシデント報告された患者さん。ただし、手術直後、精神科・小児科・集中治療室（ICU）に入院中の患者さんは除きます。

(利用するカルテ情報) 調査対象となる患者さんのシートより各項目(分類)の評価スコアおよび危険度分類(I~III)をカルテから調査します。また、年齢、性別、転倒転落の有無、服用薬剤の名称・薬効・投与量・投与日数等を調査します。

#### 【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

#### 【研究実施体制】

研究機関：愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

研究責任者：助教 飛鷹 範明

研究分担者：

副薬剤部長 田中 守

リスクマネージャー・薬剤師 乗松 真大

薬剤師 鈴木 雄太

薬剤師 都築 美穂

松山大学薬学部

准教授 畑 晶之

実習生 木村 明

#### 【研究に関する問い合わせ先】

本研究からご自身の情報を除いてほしいという方は、下記の連絡先までお申し出ください。また、本研究に関する詳細な資料を希望される方や詳細な情報を知りたい方は下記の連絡先まで連絡をお願いします。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院薬剤部

研究責任者：飛鷹 範明

791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号： 089-960-5744

e-mail: [noridah@m.ehime-u.ac.jp](mailto:noridah@m.ehime-u.ac.jp)